



2023年4月5日

各 位

会 社 名 株式会社トリドールホールディングス
(コード番号 3397 東証プライム市場)
代 表 者 名 代表取締役社長 栗田 貴也
問 合 せ 先 執行役員 兼 CFO 兼
ファイナンス本部長 兼 財務部長
山口 聡
電 話 番 号 03-4221-8900

英国Fulham Shore Plcの買収手続き開始の合意について

当社は、プライベート・エクイティ・ファンドであるCapdesia Group Limited(以下「Capdesia社」と共に、当社の英国子会社であるGreat Sea Kitchens Limitedを通じて、ロンドン証券取引所に上場しており英国国内でレストラン事業を運営するFulham Shore Plc(以下「Fulham社」)の全ての発行済及び発行予定普通株式を現金にて取得し、Fulham社を当社の子会社とする手続き(以下「本件買収」)を開始することについて、本日Fulham社と合意いたしました。

本件買収は4月4日開催の当社の取締役会で承認されました。当社、Capdesia社、Fulham社は、英国の法制度に基づく本件買収の手続き開始に関する合意の公表を本日15時30分(現地時間午前7時30分)に英国において行いました。本件は英国での開示後に日本で開示を行うという英国のテイクオーバーコードの要請に基づき、本日の開示となったものです。本件買収は友好的なものであり、Fulham社の取締役会は本件買収につき全会一致で賛同しております。

なお、上記の公表内容については後日、当社のウェブサイト(<https://www.toridoll.com/ir/announcement/>)でご確認いただけます。

1. 本件買収の背景と意義

当社は「食の感動で、この星を満たせ。」をスローガンに掲げ、世界で唯一無二の日本発グローバルフードカンパニーになることを目指して、様々な業態の飲食チェーンを世界約30ヶ国で展開しています。2022年5月に策定した「2023-2028年3月期中長期経営計画」では、重点テーマの1つに“事業ポートフォリオの量・質の拡充”を掲げており、達成手段の1つとしてM&A案件を探索してきました。

Fulham社は英国を拠点にピザ業態“Franco Manca”(直営71店舗※1)、とギリシャ料理業態“THE REAL GREEK”(直営26店舗※1)の2つの事業を展開しており、顧客体験価値、商品力、価格(Value for Money)などにおいて多くのお客様を感動させるポテンシャルを有しています。

当社は欧州のローカルバディ※2である、Capdesia社(ロンドンおよびブリュッセルを拠点に英国および欧州の外食産業に特化した成長投資を行うプライベート・エクイティ・ファンド)と共に、Fulham社と事業展開する可能性を検討してきた結果、当社が当社の英国子会社であるGreat Sea Kitchens Limitedを通じてFulham社を子会社化することについて、Fulham社との間で合意に至り、英国法に基づくスキーム・オブ・アレンジメント(Scheme of Arrangement)により友好的な買収手続きを開始するに至りました。なお、当社は、Capdesia社との間で、Capdesia社によるFulham社に対する共同出資の条件について協議を継続しています。

※1 2023年2月末時点の店舗数

※2 ローカルバディ: 感動体験に共感した特別な知識とノウハウを持つ世界中の仲間

2. 本件買収の買付代金

Fulham社とは、同社普通株式1株当たり14.15ペンス(約22.93円※3)で合意いたしました。本件買収におけるFulham社の買付代金の総額は約93.4百万ポンド(約151.3億円)を予定しております。

当社は、デューデリジェンス等を通じて、Fulham社の資産内容、事業内容、潜在的なシナジー等について、総合的かつ慎重に分析及び検討を重ねております。

※3 1英国ポンド当たり162.03円で換算(以下同様)

3. 買収手法及び手続き

本件買収は、英国の2006年会社法に基づくスキーム・オブ・アレンジメント(Scheme of Arrangement)により実施される予定です。スキーム・オブ・アレンジメントとは、英国法上の一般的な買収手続きで、Fulham社の株主及び英国裁判所の承認を得ることにより買収が成立する、友好的な買収方法です。

Fulham社株主の承認決議については、Fulham社の株主総会において、出席株主の過半数が承認し、かつ、かかる承認株主の所有に係る議決権数が議決権数総数の75%以上であることが決議要件となります。さらに、適用ある各国の規制当局による承認等を経た上で、本手続きに係る裁判所の承認を得る必要があります。当社はこれらの手続きを通じてFulham社の株式の100%を取得します。

当該手続きが実施された場合には、Fulham社株式は所定の手続きを経て上場廃止となります。

4. 資金調達

本件買収のための資金は、銀行からの借り入れにより充当する予定です。

5. 完了時期

本件買収は、上記の各手続きの完了を条件に、2024年3月期第2四半期までの完了を予定しております。

6. 当社業績への影響

本件買収による2023年3月期業績への影響はありません。

Fulham社概要

(1)	商号	Fulham Shore Plc		
(2)	所在地	1ST FLOOR 50-51 BERWICK STREET LONDON W1F 8SJ		
(3)	設立	2012年3月2日		
(4)	株式の上場	2014年 ロンドン証券取引所上場(LSE AIM)		
(5)	資本金	6,348,000ポンド(約10.3億円)(2022年3月期)		
(6)	発行済及び発行 予定株式総数	634,820,577株(2022年12月16日現在)		
(7)	連結売上高	82.7百万ポンド(約134.8億円)(2022年3月期)		
(8)	連結総資産	148百万ポンド(約241.3億円)(2022年3月期)		
(9)	経営陣	Executive Chairman: David Michael Page Managing Director 兼 Executive Director: Nabil Mankarious 他取締役4名(計6名)		
(10)	大株主及び 持ち株比率 2022年12月16日時点	株主	保有株数(株)	保有割合
		Nabil Mankarious	116,879,434	18.4%
		S Wasif	84,870,414	13.4%
		David Michael Page	83,515,120	13.2%
		FIL Limited	35,851,390	5.7%
		Unicorn Asset Management Limited	31,500,000	5.0%
		Canaccord Genuity Group Inc	31,276,902	4.9%
		P Solari	22,670,250	3.6%
		G Mascoli	21,677,246	3.4%
		上記以外に3%以上の株式を保有する株主は報告されておりません。		
(11)	事業内容	英国国内の外食事業		
(12)	決算期	3月末		
(13)	当社との関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には特筆すべき資本関係はありません。	
		人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には特筆すべき人的関係はありません。	
		取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には特筆すべき取引関係はありません。	
(14)	最近3年間の財政状態及び経営成績:(単位:千ポンド) ※円表記は163.02円で換算			
	決 算 期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
	連 結 純 資 産	38,760 / 6,319百万円	35,457 / 5,780百万円	39,365 / 6,417百万円
	連 結 総 資 産	133,017 / 21,684百万円	137,929 / 22,485百万円	148,124 / 24,147百万円
	1株当たり連結純資産	0.068p / 11円	0.057p / 9円	0.062p / 10円
	連 結 売 上 高	68,565 / 11,177百万円	40,285 / 6,567百万円	82,702 / 13,482百万円
	連 結 事 業 損 益 ¹	4,437 / 723百万円	(12,421) / ▲2,025百万円	6,570 / 1,071百万円
	連 結 営 業 損 益 ²	1,832 / 299百万円	(4,771) / ▲778百万円	6,375 / 1,039百万円
	親会社株主に帰属する 当期損益	(1,193) / ▲194百万円	(6,306) / ▲1,028百万円	3,663 / 597百万円
	1株当たり連結当期損益	(0.2)p / ▲33円	(1.1)p / ▲179円	0.6p / 98円
	1株当たり配当金 ³	0 / 0円	0 / 0円	0 / 0円

¹ 連結事業利益=売上収益-売上原価-販管費

² Fulham社Annual Reportに記載のHeadline Operating Profit

³ Fulham社は上記の期間中は配当を行っておりません

当社免責条項

本発表は、本件買収に関して、いかなる有価証券の売却その他の方法による処分への申込を含むものでも、あるいはその一部を構成するものでもなく、そのように意図するものでもありません。また本発表は、本件買収に関して、いかなる有価証券の購入、引受、その他の方法による取得の申込を勧誘するものではありませんし、いずれかの法域における議決権行使もしくは承認を勧誘する者でもありません。Fulham社の有価証券について、いかなる法域における適用法令に違反して、売却、発行または譲渡が行われるものではありません。本件買収はスキーム・ドキュメントによってのみ行われる予定であり、当該スキーム・ドキュメントにおいて、本件買収に係る一切の条件(スキーム・オブ・アレンジメントに関する議決権の行使方法の詳細を含みます。)が記載されます。スキーム・オブ・アレンジメントに係る議決権の行使その他本件買収について何らかの反応をする場合には、当該スキーム・ドキュメントに記載された情報のみに基づいてなされなければなりません。Fulham社の株主においては、本件買収に関して当該文書を受領した際にそれを注意深く読む必要があります。

本件買収はそれが違法となるような法域(以下「禁止法域」)において、あるいは禁止法域に対してもしくは禁止法域から、直接間接を問わず、行われることはありません。また、禁止法域からまたは禁止法域において、本件買収に対する承諾を行うことも認められません。したがって、本発表および本件買収に関する一切の文書の写しについて、郵送その他の方法による転送(テレックス、ファックス、電話、インターネットその他の電子通信によるものを含みますが、これらに限定されません。)、頒布または送付が、直接的にも間接的にも、禁止法域において、同地域に対して、または同地域から行われることはなく、また行われてはなりません。また本発表および本件買収に関する一切の文書を受領する者(カスタディアン、ノミニーおよび受託者を含みます。)においては、本発表および本件買収に関する一切の文書について、郵送その他の方法による頒布もしくは送付を、そのような行為により本件買収に対する承諾が無効とされる可能性のある地域において、または同地域に対してもしくは同地域から行ってはなりません。英国の居住者ではないFulham社の株主が本件買収に応じることができるか否かについては、当該株主が居住する法域の法律による影響を受ける可能性があります。英国の居住者でない方々につきましては、適用法令を確認し、遵守する必要があります。海外の株主に関する詳細は、本件買収に係るスキーム・ドキュメントに記載される予定です。

将来に関する記述等についての注意事項

本発表には、当社およびFulham社の将来に関する記述、または将来に関する記述に該当する可能性のある内容が含まれています。歴史的事実についての記述を除き、本発表の内容はすべて将来に関する記述に該当する可能性があります。「目標とする」「計画する」「考える」「予想する」「目指す」「意図する」「だろう」「かもしれない」「予期する」「見積もる」「予測する」その他同様の性質を有する用語やその否定形が前後に続くまたはこれらを含む記述はいずれも、将来に関する記述です。将来に関する記述には、以下に関する記述が含まれます。すなわち買収により見込まれる当社の利益に関する記述、買収提案の背景及び理由、買収により見込まれる当社の売上高および利益に対する影響、当社の今後の見通しもしくはFulham社の将来の資本的支出、費用、売上高、利益、シナジー効果、経済実績及び将来の見通しに関する情報です。

かかる将来に関する記述は、予想される結果に重大な影響を与え得るリスクおよび不確実性を伴うもので、一定の重要な仮定に基づいています。将来に関する記述中の予測または予測に比して実際の結果が大きく乖離することとなる要因は多岐にわたります。これらの要因には、Fulham社と当社の統合成功に関するリスク、Fulham社の統合に関する費用もしくは予想利益の実現に必要なFulham社への投資費用が想定額を上回ること、また買収による利益の実現時期およびその金額に影響を与え得る、当社には知らされていないFulham社の事実が含まれます。将来に関する記述について、上記の不確実性およびリスクに照らして、過度に依拠してはならず、本発表日現在の情報にすぎないことにご留意ください。適用法令により義務付けられる場合を除き、当社およびFulham社には、本発表に含まれる将来に関する記述その他の記述を更新する義務はありません。

以上